

## 横浜型医療的ケア児・者等支援促進事業の取組状況について

### 1 横浜型医療的ケア児・者等コーディネーターの活動実績について

#### (1) 相談支援について（令和4年度4月～12月）

##### ア 相談件数：延 539 件（内新規 303 件）

ア) 1拠点あたりの、1か月ごとの平均相談件数は約10件で、昨年度と同様の傾向でした。

イ) 新規の相談も、昨年度と同程度の件数を受けています。

#### < 令和4年度 >

拠点名	4月～6月		7月～9月		10月～12月		1月～3月		合計	
	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規
青葉区	23	18	29	29	34	28			86	75
都筑区	36	24	44	28	57	30			137	82
鶴見区	12	8	14	7	18	8			44	23
旭区	31	10	16	9	16	9			63	28
南区	52	19	52	18	32	13			136	50
磯子区	28	18	25	19	20	8			73	45
合計	182	97	180	110	177	96			539	303

#### < 参考：令和3年度 >

拠点名	4月～6月		7月～9月		10月～12月		1月～3月		合計	
	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規
青葉区	30	23	27	24	29	22	28	20	114	89
都筑区	20	18	15	14	20	16	26	20	81	68
鶴見区	14	8	20	11	7	5	16	10	57	34
旭区	23	14	31	15	38	22	26	11	118	62
南区	42	16	37	15	45	14	44	17	168	62
磯子区	28	16	34	15	34	17	25	13	121	61
合計	157	95	164	94	173	96	165	91	659	376

## イ 相談対象者の年齢

ア) 「幼児②（3～6歳未満）」が最も多いです。

イ) 「幼児②（3～6歳未満）」の相談者内訳は、「家族」、「病院」の順に多く、相談内容は「学校」、「保育所・幼稚園等」、「福祉サービス」の順に多くなっています。

<令和4年度>

相談対象者の年齢	件	%
乳児（1歳未満）	53	9.8%
幼児①（1～3歳未満）未就園児	93	17.3%
幼児②（3～6歳未満）	145	26.9%
児童①小学生（6～12歳未満）	90	16.7%
児童②中学生（12～15歳未満）	34	6.3%
児童③高校生（15～18歳未満）	23	4.3%
18歳以上	71	13.2%
年齢不明	30	5.6%
合計	539	100%

<参考：令和3年度>

相談対象者の年齢	件	%
乳児（1歳未満）	56	8.5%
幼児（1～6歳未満）.少年（6～18歳未満）	462	70.1%
18歳以上	103	15.6%
年齢不明	38	5.8%
合計	659	100%

### ●幼児②（3～6歳未満）の内訳

順位	相談者	件	%
1	家族	53	36.6%
2	病院	25	17.2%
3	訪看	20	13.8%
4	福祉施設	12	8.3%
5	区役所	10	6.9%
6	療育センター	6	4.1%
7	計画相談支援事業所	4	2.8%
7	保育所	4	2.8%
9	学校	2	1.4%
10	地域子育て支援拠点	1	0.7%
10	基幹相談支援センター	1	0.7%
	その他	7	4.8%
	計	145	100%

順位	相談内容	件	%
1	学校	40	21.9%
2	保育所・幼稚園等	36	19.7%
3	福祉サービス	33	18.0%
4	退院調整	16	8.7%
5	訪看	12	6.6%
6	かかりつけ医の紹介	8	4.4%
6	レスパイト	8	4.4%
8	年齢移行	2	1.1%
	その他	28	15.3%
	計	183	100%

ウ 相談者（延数）と相談内容（重複回答可）

ア) 相談者は、昨年度と同様に「家族」が最も多いですが、割合は昨年度から減少しました。

「家族」からの相談内容は、「保育所・幼稚園等」が最も多いです。

イ) 相談内容は、「福祉サービス」、「保育所・幼稚園等」の順に件数が多く、割合も昨年度から増加しています。

<令和4年度>

順位	相談者	件数	%	<参考> R3年 度%	相談内容内訳（重複回答可）								
					福祉 サービス	保育所・ 幼稚園等	訪看	学校	退院 調整	かかりつ け医の紹 介	レスパイ ト	年齢 移行	その他
1	家族	153	28.4%	32.7%	34	46	14	27	4	13	9	3	29
2	病院	104	19.3%	14.3%	22	7	27	15	48	12	12	1	20
3	訪看	67	12.4%	11.8%	23	5	7	8	4	3	5	1	17
4	区役所	53	9.8%	6.9%	12	19	9	4	1	4	3	1	19
4	福祉施設	53	9.8%	7.5%	17	8	10	7	2	2	3	0	18
6	基幹相談支援センター	23	4.3%	5.6%	7	1	6	0	0	0	2	1	7
7	保育所	20	3.7%	0.0%	1	12	0	0	3	5	1	0	9
8	計画相談支援事業所	15	2.8%	4.7%	2	0	3	1	1	2	4	0	5
9	学校	14	2.6%	6.9%	1	0	0	11	0	0	0	0	3
10	療育センター	10	1.9%	2.5%	4	2	2	2	0	0	1	0	2
11	教育委員会	2	0.4%	1.2%	1	0	0	2	0	0	0	0	0
12	地域子育て支援拠点	1	0.2%	0.6%	0	1	0	0	0	0	0	0	0
12	本人	1	0.2%	1.2%	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	その他	23	4.3%	4.0%	4	6	2	0	0	0	0	0	14
	計	539			128	107	80	77	64	41	40	7	144
	%				19.4%	16.2%	12.1%	11.7%	9.3%	6.0%	6.1%	1.1%	21.9%
	<参考>R3年度%				16.4%	12.6%	13.8%	9.0%	7.1%	4.0%	6.5%	1.6%	29.0%

## エ 連携先

昨年度と同様に「訪問看護ステーション」、「病院」、「福祉保健センター」の順に多くなっています。

<令和4年度>

順位	連携先（複数選択可）	件	%
1	訪看	225	23.2%
2	病院	172	17.7%
3	福祉保健センター	163	16.8%
4	障害福祉サービス事業所	79	8.1%
5	保育所・幼稚園	67	6.9%
6	診療所	66	6.8%
7	相談支援事業所	57	5.9%
8	療育センター	39	4.0%
9	基幹相談支援センター	28	2.9%
10	小・中学校	20	2.1%
11	特別支援学校	19	2.0%
12	特総センター	15	1.5%
13	多機能拠点	10	1.0%
14	地活ホーム	9	0.9%
15	入所施設	1	0.1%
16	地域ケアプラザ	0	0.0%
	合計	970	100%

<参考：令和3年度>

件	%
228	23.5%
165	17.0%
157	16.2%
69	7.1%
61	6.3%
30	3.1%
70	7.2%
37	3.8%
47	4.8%
29	3.0%
26	2.7%
16	1.6%
18	1.9%
9	0.9%
8	0.8%
2	0.2%
972	100%

## (2) コーディネーターの支援とネットワークづくり

### ア コーディネーター定例会

コーディネーターと本市4局担当者、医師会担当者と月1回定例会を行っています。定例会では事例検討を行い、コーディネーターの役割について再確認を行っています。その他、各種制度等の情報共有や調整状況の共有なども行っています。

### イ 地域でのネットワーク形成と普及啓発（令和4年12月末時点）

関係機関の連絡会や研修会等にコーディネーターが出席し、本事業の普及啓発を行うとともに、関係機関との連携強化や、地域の支援者への助言・技術支援なども行っています。

#### ア) コーディネーターが出席した連絡会等

- 区自立支援協議会（重心部会等） ○区訪問看護連絡会 ○区保育園看護師連絡会
- 区多職種会議 ○医ケア児・者等家族会

#### イ) コーディネーターが訪問した関係機関等

- 特別支援学校 ○放課後等デイサービス事業所 ○横浜リハビリテーションセンター
- 療育センター ○神奈川県立こども医療センター ○こどもホスピス
- 地域子育て支援拠点

#### ウ) 地域の支援者への助言・技術指導等

- 保育園 ○特別支援学校 ○基幹相談支援センター ○横浜リハビリテーションセンター
- 在宅医療連携拠点

## 2 コーディネーターの養成について

現在の1拠点に1名のコーディネーターの体制ですが、コーディネーターが長期で不在となった場合等に、対応する人材の養成を行います。

なお、コーディネーター候補者は、令和4年度に「横浜型医療的ケア児・者等コーディネーター養成研修」を受講し、令和5年度から各拠点に配置します。

### (1) コーディネーター候補者について

鶴見区・青葉区・都筑区及び旭区コーディネーター拠点を設置している区医師会訪問看護ステーションに所属する訪問看護師 4名

### (2) コーディネーター養成の研修について

「横浜型医療的ケア児・者等コーディネーター養成研修」は、国の「医療的ケア児等コーディネーター養成研修」のカリキュラムだけでなく、医療機関・福祉施設・学校等での実地研修を加えた内容としています。

令和5年2月末の実習を以て、全てのカリキュラムを修了予定です。

【参考】横浜型医療的ケア児・者等コーディネーター養成研修

研修名	内容等	受講時間
実地研修（一部座学を含む）【※】 ＜横浜市独自研修：横浜市医師会に委託＞	医療機関・福祉施設・学校等において座学及び実地研修を行う研修。	約110時間
横浜市医療的ケア児・者等支援者養成研修 ＜横浜市独自研修：横浜市医師会に委託＞	国の「医療的ケア児等コーディネーター養成研修」に、横浜独自の内容を盛り込んだ研修（本資料「3(3)参照」）	約56時間
神奈川県障害者相談支援従事者初任者研修 ＜横浜市域分を横浜市が実施＞	相談支援専門員（計画相談）として従事する職員を養成する必須の研修	約49時間
小児訪問看護・重症心身障害児者看護研修 ＜横浜市独自研修（神奈川県・川崎市との共催）：神奈川県看護協会に委託＞	重症心身障害児・者及び家族に対して地域での生活を支える看護活動に必要な知識・技術の向上を図り質の高い看護を提供することを目的とした研修	約33時間

※ 新型コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小して実施しています。

### 3 各種研修の実施状況について

#### (1) コーディネーターのフォローアップ研修

##### ア 対象者

横浜型医療的ケア児・者等コーディネーター 6名

##### イ 目的

コーディネーターの役割を確認し、活動について振り返る機会をもつ。

##### ウ 講師

一般社団法人 医療的ケア児等コーディネーター支援協会  
事務局長兼理事 谷口 由紀子氏（淑徳大学看護栄養学部看護学科 助教）

##### エ 日時・場所

###### ア) 集合研修

令和4年12月2日（金）15時30分～17時00分

横浜市研修センター 602・603（講師はオンライン参加）

###### イ) 個別面談

令和4年12月26日（月） 15時30分～18時00分、18時15分から19時15分

横浜市庁舎

##### オ 内容

###### ア) 集合研修

- ・講義「コーディネーターに必要なアセスメントの視点について」
- ・質疑応答

###### イ) 個別面談

- ・チェックリストを用いた活動の振り返り、悩みや課題の確認

## (2) 支援者フォローアップ研修

### ア 対象者

医療的ケア児・者支援者養成研修受講者

### イ 目的

- ア) 支援者に継続して地域で活躍してもらうために、支援や連携に必要な、現場で知りたい内容等について伝え、継続的にフォローする。
- イ) コーディネーターと地域の支援者が顔が見え、連携できる関係を作る。

### ウ 講師

横浜重心グループ連絡会 ～ぱざぱネット～ 代表 西村 朋美氏

### エ 日時・場所

令和4年12月12日(月) 18時30分～20時30分

オンライン開催(集合開催で周知していたが、新型コロナウイルスの感染拡大によりオンライン開催に変更)

### オ 参加者

20名

### カ 内容

「つながる あんしん 地域で支える医ケア児・者等について」

- ア) 講演：医療的ケア児・者の暮らしと求められる支援 ～家族の立場から～
- イ) グループワーク

## (3) 横浜型医療的ケア児・者等支援者養成研修

### ア 対象者

市内訪問看護ステーション所属の訪問看護師、障害福祉サービス事業所、保育園・幼稚園・学校・医療機関等で従事する方の中で医療的ケア児・者等の支援に関心がある方(定員：50名)

※スポット受講は定員を設けず、ZOOMでの参加が可能

### イ 目的

「横浜型医療的ケア児・者等支援者」として、医療的ケア児・者等支援及び多職種連携についての基礎的知識の習得し、医療的ケア児・者等支援に関する医療・福祉・教育等に関する知識及び関係者との連携について学習する。

※本研修を全講座来場で受講し、修了した方には、「横浜型医療的ケア児・者等支援者養成研修」修了証書を交付します(「要医療児者支援体制加算」の算定要件の一部です)。

### ウ 時期

令和4年5月24日(火)から12月17日(土)まで

16講座 全8日間

### エ 修了者

48名(※全講座来場で受講し、修了した者)

### オ その他

支援者養成研修修了者の所属する事業所等の一覧をホームページ上で公表します。

(4) 横浜型医療的ケア児・者等支援者養成見学実習

ア 対象者

横浜型医療的ケア児・者等支援者養成研修修了者及び横浜市が認める※者（定員：45名）

※横浜型医療的ケア児・者等支援者養成研修修了者が所属する施設に従事している職員、医療的ケア児・者の受入れが決定している施設の職員等

イ 目的

横浜型医療的ケア児・者等支援者養成研修修了者等が、必要な知識・技術の習得のために訪問看護ステーション等で見学実習を行い、自身が所属する施設・事業所等において、医療的ケア児・者等の受入れを進める。

ウ 内容

ア) 習得したい医療的ケアを実践している訪問看護ステーションの看護師に同行し、医療的ケアの準備から実践、観察ポイントや家族のやりとり等、説明の様子を見学する。

イ) 医療的ケア児・者が利用予定の施設に講師である訪問看護ステーションの看護師が伺い、医療的ケアの実践、観察ポイント等についてのアドバイスや情報交換を行う。

エ 時期

令和4年6月末から令和5年3月末まで（令和4年6月末から募集開始）

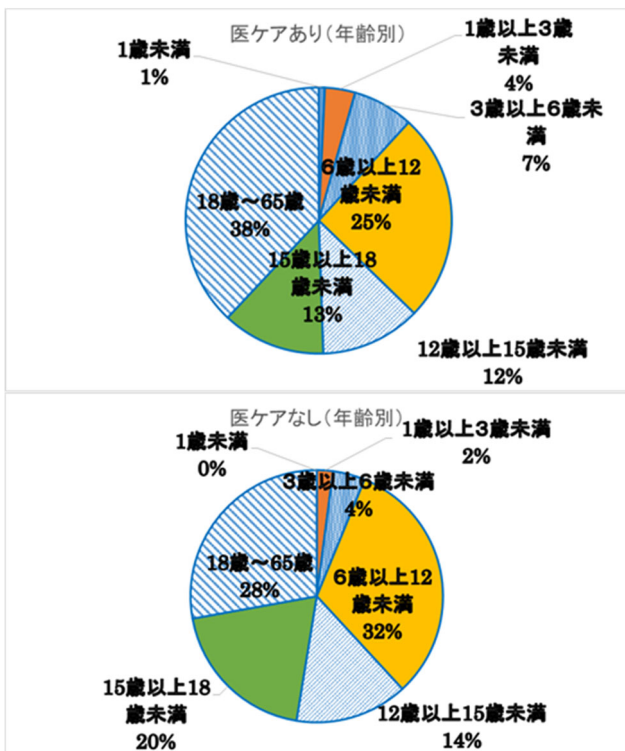
オ 参加者及び申込者（令和5年1月末時点）

1名

4 実態把握について

・登録者数（令和4年12月末時点）：381人

①年齢別及び医療的ケアの有無



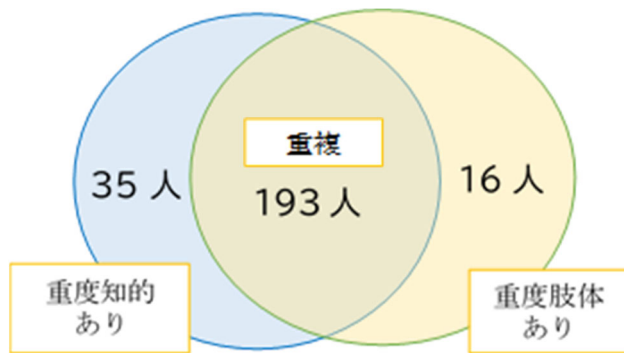
②区別及び医療的ケアの有無（人）

区名	医ケアあり	医ケアなし	計
鶴見区	18 6.4%	11 -	29 7.6%
神奈川区	12 4.3%	2 -	15 3.9%
西区	13 4.6%	4 -	17 4.5%
中区	10 3.6%	3 -	13 3.4%
南区	20 7.1%	2 -	22 5.8%
港南区	13 4.6%	7 7.1%	20 5.2%
保土ヶ谷区	14 5.0%	4 -	18 4.7%
旭区	21 7.5%	9 9.1%	30 7.9%
磯子区	12 4.3%	1 -	13 3.4%
金沢区	12 4.3%	0 -	12 3.1%
港北区	33 11.7%	14 14.1%	47 12.3%
緑区	8 2.8%	12 12.1%	20 5.2%
青葉区	19 6.8%	8 8.1%	27 7.1%
都筑区	19 6.8%	6 6.1%	25 6.6%
戸塚区	22 7.8%	6 6.1%	28 7.3%
栄区	11 3.9%	2 2.0%	13 3.4%
泉区	11 3.9%	6 6.1%	17 4.5%
瀬谷区	13 4.6%	2 2.0%	15 3.9%
計	281 100.0%	99 72.7%	381 100.0%

※未記入が1名



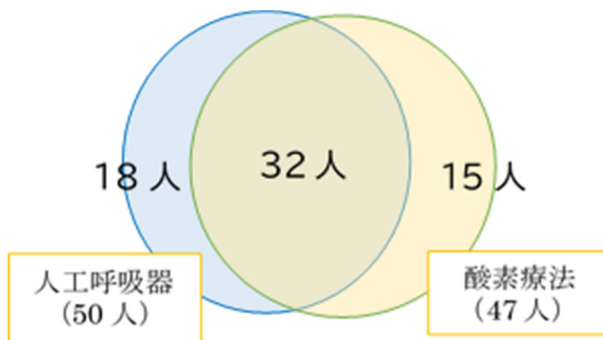
③医療的ケア有りとは回答した方（281人）  
のうち、重度知的障害と重度肢体障害がある方



※  $281 - (35 + 193 + 16) = 37$ 人は、医ケアはあるが、重度の知的・肢体障害はなし。

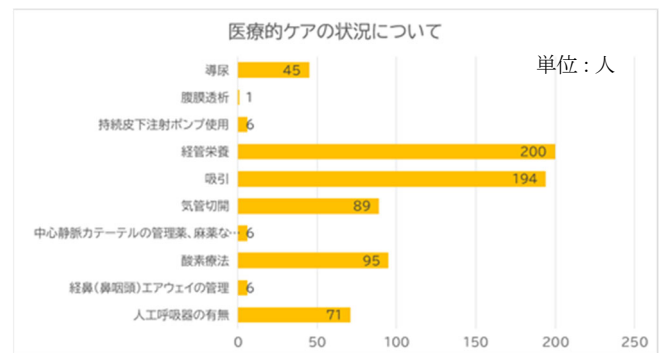
(参考) 障害の重複状況について

・ 気管切開の方（89人）の医療的ケア重複状況



※  $89 - (18 + 32 + 15) = 24$ 人は酸素療法、人工呼吸器がない方。

④医療的ケアの状況について



・ 人工呼吸器と経管栄養の重複状況

